

推薦図書リスト「現代文・小論文・志望理由書の対策及び進路学習/選択のための本」【保存版】2022年4月改訂

世界を覗く目を養い、自分の将来を考えよう！

アサンブション国際中学校高等学校 図書館 2022

この推薦図書リストは、諸学問の基礎となった時空を超えた(普遍的な)名著と、現代的な諸問題に関する本とを集めたものです。世界を知り、併せて「人間性とは何か」という究極の問いへのアプローチとなるよう選書にあたりました。

普遍的な名著については、学問の基礎の根幹にかかわるもので出来るだけ読み易いものを厳選しました。

現代的な諸問題については、予備校の推薦図書や主要大学の新生向けの読書案内を参考にしつつ、最近の大学入試で頻出のもの、諸分野における信憑性(しんぴょうせい)と信頼性の高い本を、厳選しました。

変動の激しい中近東やヨーロッパの情勢や経済・科学・医療・環境・日本国内の制度等の問題についても、基本事項がしっかり説明してあって、今後の展望の把握に役立つものを選びましたので、のぞいてみてください。

このリストのレベルの本を、高校1年生から少しずつ読んでいくように心掛けましょう。

※レベル記号: ☆=入門 ☆☆=初級～入試標準 ☆☆☆=上級 ※【新】=今年度新しくリストに入ったもの

*このリストの本は、図書館に入って左手、白い大型書架に置いています。(新着のものは、先ず新着図書の書架に入れますので、そちらも確認してください。)

学部横断的(学際的)一般テーマ(倫理・論理・SDGs・環境・地政学・統計・情報・人工知能含む)

レベル	本の題名	著者・編者・訳者	出版社等	図書館	紹介コメント
☆	現代倫理学入門	加藤尚武	講談社学術文庫1267	○	現代の道徳的なジレンマ・難問を中心に考察し、現代の倫理の構造と課題を説明する。
☆☆	臨床の知とは何か	中村雄二郎	岩波新書303	○	前半は哲学・科学史を解説し、後半では今後の新しい知の在り方を提言する。
☆	新しい教養を拓く —文明の違いを超えて—	筒井清忠 編	岩波ブックレット483	○	古代ギリシア、古代から前近代の中国・イスラーム世界、現代フランスの各々の教養について研究者が概観し、「教養の新生に向けて」総括し提言する。
☆☆	術語集—気になることば—	中村雄二郎	岩波新書276	○	現実や世界を読み解く言葉の辞典。現代思想の理解・現代文読解に役立つ。
☆	理論トレーニング101題	野矢茂樹	産業図書	○	1題解くだけでもその分の力がつくように工夫された本。気軽に取り組もう。
☆	ゲーム理論トレーニング	逢沢 明	かんき出版	○	経済、政治、生物学等に活用されているゲーム理論の実践における考え方を説明する。
☆【新】	饗宴	プラトン	岩波文庫 青601-3	○	ソクラテスが宴席で対話法によって「愛」について明らかにしていく。
☆	エマニュエル・トッドの思考地図	エマニュエル・トッド	筑摩書房	○	思考に関係する諸事項と過程を、思考の出発点・入力・対象・創造・視点・分析・出力・倫理・未来の各観点に分けて解説する。
☆【新】	回勅 兄弟の皆さん	教皇フランシスコ	カトリック中央審議会	○	現代世界の諸課題を網羅し、分析・考察を加えて解決法を提言する。
☆☆	量子コンピュータが変える未来	寺部雅能・大関真之	オーム社	○	量子コンピュータの特性と、様々な応用の可能性、身近な企業が探る活用法について、解り易く紹介する。
☆	SDGsを学ぶ 国際開発・国際協力入門	高柳彰夫・大橋正明 他	法律文化社	○	SDGsについての基礎知識と、実際の取り組みの概要と課題について解説する。
☆	世界を変えるのは、あなた (国連・女性・NGO PartII)	国連NGO国内女性委員会	パド・ウィメンズ・オフィス	○	現在の様々な女性に関する問題の改善に取り組む国連の活動と諸機関・取り組んできた人・加盟団体を紹介する。
☆【新】	環境経済学 『沈黙の春』から気候変動まで	スティーヴン・スミス 若林茂樹訳	白水社	新着	環境保全と経済費用、意思決定、環境政策の立案と導入について考えるための基礎的事項について解り易く解説する。
☆☆	地域から考える環境と経済	ハ木信一・関耕平	有斐閣	○	環境保護の対策・行動を考える時に必要となる環境経済学の入門書。
☆	地球環境読本 —人間と地球の未来を考えるための30のヒント	加藤尚武 編	丸善株式会社	○	現代の環境問題の重要なテーマを解説し、環境問題の究極の解決の方向性を見出す糸口を提供する、環境問題の入門書。
☆	地球環境読本(2) —環境再生・共生を考えるための31のヒント	加藤尚武 編	丸善株式会社	○	類書にはないテーマ設定・切口で「環境問題」を具体的に論じ、環境問題を深く考えさせる。「環境改善の試みによる成果」に重点を置く。コラムも収録。
☆	地球環境問題がよくわかる本	浦野紘平	オーム社	○	近年の地球上の主な環境問題についてテーマごとに解説する。
☆	入門環境倫理学 持続可能性の設計	加藤尚武	神奈川大学評論ブックレット29 お茶の水書房	○	豊富な事例に考察を加えることによって、日常生活のなかで出会う環境問題のなかから、その底にあるもっと困難な問題に目を向けることを促す。
☆☆	新・環境倫理学のすすめ 増補新版	加藤尚武	丸善ライブラリー-373	○	京都議定書以降の現状から真の持続可能性を追究する。明快で解り易い。
☆	「環境を守る」とはどういうことか —環境思想入門	尾関 周二 環境思想・教育研究会	岩波ブックレット960	○	そもそも「環境を守る」とはどういうことなのかを、身近な具体的事象を分析して多様な視点から考察する。環境思想についての最新の知見も盛り込まれている。
☆☆	ユネスコ エコパーク 地域の実践が育てる自然保護	松田裕之・佐藤哲・湯本貴和	京都大学学術出版会	○	ユネスコエコパーク(人間活動を含む生物圏保存地域)の制度と理念、運動論、運用の実際、ユネスコエコパークを支える知識・ネットワーク・科学について解説する。
☆☆	グローバリズムが世界を滅ぼす	エマニュエル・トッド 柴山桂太 他	文春新書974	○	グローバリズムの内実と未来を鋭く解き明かし、今後の世界について提言する。経済・国際関係・国際文化の志望者は必読の書。
☆☆	シャルリとは誰か? 人種差別と没落する西欧	エマニュエル・トッド 堀茂樹 訳	文春新書1054	○	2015年フランスでの「私はシャルリ」デモは、国民のどのような人々が行い、何を表明したことになるのか。その真相を、各種のデータと歴史的経緯から明晰に読み解く。
☆☆	問題は英国ではない、EUなのだ 21世紀の新・国家論	エマニュエル・トッド	文春新書1093	○	英国のEU離脱などの現在の様々な問題について、独自の分析方法を示しつつ明快に読み解き、今後の展望を示し、政策を提言する。
☆☆	大分断 教育がもたらす新たな階級化社会	エマニュエル・トッド	PHP新書1229	○	中等・高等教育が民主主義にもたらす様々な影響を、格差、能力主義、教育格差、市民の分断、グローバルイゼーション等の観点から考察する。
☆☆	不平等について 経済学と統計が語る26の話	ブランコ・ミラノ ヴィッチ	みすず書房	○	所得と富の不平等について、これまでの学説を整理・解説し、多様な事例と観点から考察する。探究の手掛かりとなる本。
☆~ ☆☆	私の進化論 (『今西錦司全集』第十巻)(「人類学への回顧と展望」「私の履歴書」を含む)	今西錦司	講談社	○	「棲みわけ」=種社会の発見を出発点に、「環境の主体化」の観点から変異のプロセスを個体レベルではなく種レベルで考え、進化の方向性を理論づける。
☆	ヒトはどのようにしてつくられたか (シリーズ ヒトの科学1)	山極寿一 編	岩波書店	○	ヒトの由来と進化を、社会性・近縁の類人猿・狩猟採集・道具と文化・心を読むことと他者を操作すること・性の進化・化石からたどる生物としての進化の観点から述べる。
☆☆	〈こころ〉はどこから来て、どこへ行くのか	河合俊雄/ 山極寿一/中沢新一 広井良典/下條信輔	岩波書店	○	人類の起源の頃の「共感」、とりわけ「同情」の発生等の諸事情と、個人と家族、集団相互の関係とから、現在の倫理・社会の規範を見通し、課題を提示する山極寿一氏の講演の他、臨床心理学、人類学及び宗教学、公共政策・科学哲学、認知神経科学の分野からの知見を載せる。
☆☆	脳はいかに意識をつくるのか 脳の異常から心の謎に迫る	ゲオルグ・ホルトフ 高橋洋 訳	白揚社	○	原題『NEURO-PHILOSOPHY AND THE HEALTHY MIND : Learning from the Unwell Brain』神経科学のデータを用い、精神医学、哲学を加えて三分野から考察を加える。

☆☆	健康格差 不平等な世界への挑戦	マイケル・マーモット 栗林寛幸 監訳	日本評論社	○	「健康」の社会的決定要因を探り、教育、労働、老後の人生、回復力のあるコミュニティの構築等の在り方について具体的に述べ、提言を行う。もっと知りたい人は『社会疫学(上)(下)』(L. F. バークマン/イチロー・カワチ/M. M. グリモール著、大修館書店)を読んでください。
☆☆	レヴィニストロース講義 現代世界と人類学	レヴィニストロース/川 田順造・渡辺公三訳	平凡社ライブラリー	○	著者の学問のまとめ。:「西洋文明至上主義の終焉—人類学の役割」「現代の三つの問題—性・開発・神話的思考」「文化の多様性の認識—日本から学ぶもの」/質疑応答
☆	日本美の再発見[増補改訂版]	ブルーノ・タウト	岩波新書R10	○	ドイツの建築家が鋭い観察眼と高度な教養とを以て日本文化の本質を考察する。
☆	人種とスポーツ	川島浩平	中公新書2163	○	副題【黒人は本当に「速く」「強い」のか】最新の科学的知見から能力の先天性を明らかにする。
☆	日本人とアイデンティティ	河合隼雄	創元社	○	心理療法を通して考察した様々な事柄が語られる。文学・教育志望者へ現代文対策。
☆☆	溺れるものと救われるもの	ブリーモ・レーヴィ 竹山博英 訳	朝日選書922	○	アウシュヴィッツの生存者である著者が、戦後41年経過して発表した思索の集大成。人間の精神の深奥を容赦ない分析と考察で明らかにする。
☆☆	感染症と文明—共生への道	山本太郎	岩波新書1314	○	人間の文明が作りだしてきた感染症の流行の諸相を描き出し、考察を加える。
☆☆	銃・病原菌・鉄(上、下) 一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎	ジャレット・ダイヤモンド著/倉品 彰訳	草思社文庫	○	東アジア・太平洋域から見た人類史を「銃・病原菌・鉄の謎」を中心に「敗者と勝者めぐる謎」「食糧生産にまつわる謎」「世界に横たわる謎」とともに読み解く。
☆☆	国家はなぜ衰退するのか(上)(下) 権力・繁栄・貧困の起源	ダロン・アセモグル/ ジェームズ・A・ロビン ソン著 鬼澤忍 訳	早川書房	○	政治制度と経済制度の在り方——為政者の「政策」が一国の命運を長きにわたって決定づけていく容態を世界各地の様々な国家を取り上げて解説する。
☆☆	地政学の逆襲 「影のCIA」が予測する覇権の世界地図	ロバート・D・カプラン 櫻井祐子 訳	朝日新聞出版 奥山真司 解説	○	世界各地の現在の事態を地理的・歴史的背景から読み解き、未来を予測する手掛かりを豊富に示す。
☆	日本人が知るべき東アジアの地政学	茂木誠	悟空出版	○	東アジアの状況と、世界の主要各国の戦略を解説する。「地政学」についてのコンパクトな解説もある。
☆☆	総合生存学 グローバル・リーダーのために	川井 秀一/ 池田裕一/ 藤田正勝 編	京都大学学術 出版会	○	例えば開発と環境保護が対立する現場、国際紛争の現場で最も適当な解を見つけるには何が必要か?複合的・構造的課題を見通す力とは?学問と国境の垣根を越えた人材を育成する知の挑戦。
☆☆	失敗学のすすめ	畑村洋太郎	講談社	○	失敗の情報を知識化して理解し、事後に様々な活かす方法を具体的に示す。
☆☆	誰のためのデザイン? 増補・改訂版 認知科学者のデザイン原論	D.A.ノーマン 岡本明 他 訳	新曜社	○	現在では一般的となった「人間中心のデザイン」の考え方を提唱した本を、本文中の事例を最新のものに差し替えて改訂したもの。この本について、筆者自らが「これは良いデザインのためのスターターキットである。」と書いています。
☆	大学生になるきみへ—知的空間入門	中山茂	岩波ジュニア新書452	○	3つの学問領域を挙げて面白さを示し、自発性・内発性を持つ人材への成長を促す。
☆	リーダー訓練法 あなたもリーダーになれる	トマス・ゴードン 近藤隆雄 訳	サイマル出版会	○	「個人を生かし、集団を生かす創造的《リーダーシップづくり》」:クリエイティブな問題解決のための「傾聴」の仕方、メッセージの出し方、会議(話し合い)の手順、実行のためのステップを、人間関係作りをベースに具体的に示す。
☆	国際機関で見た 「世界のエリート」の正体	赤坂清隆	中公新書ラクレ502	○	主要国際機関で長年活躍してきた筆者が、国際機関での仕事の内実と、国際公務員になる方法と必要な資質を具体的に明快に示す。「グローバルに働くための仕事術10ヵ条」「世界で活躍するためのブックガイド」は必見。
☆☆	世界大学ランキングと知の序列化 大学評価と国際競争を問う	石川真由美 編	京都大学学術 出版会	○	民間ビジネスによる大学の格付けを基に国家の高等教育政策が決定された事態について、実態と背景を読み解き、大学評価の国際化、知の序列化を論じ、大学の個別の特性を活かした発展について提言する。
☆☆	地球情報地図50 自然環境から国際情勢まで	アラスティア・ボ ネット著 山崎 正浩 訳	創元社	○	地球環境や生物多様性、エネルギー問題から人間の幸福度までの多岐に亘るテーマを50の地図で示す。各地図には社会地理学者の著者による「見るべきポイント」をまとめた解説付き。
☆☆	データ分析の力 因果関係に迫る思考法	伊藤公一朗	光文社新書878	○	相関関係と因果関係の違いは?因果関係分析の入門と、最先端のデータ分析手法について、具体例を用いてビジュアルな手法で解説する。
☆	統計学入門	小島寛之	ダイヤモンド社	○	中学数学の範囲で(正確率を使用しない範囲で)「記述統計」(得られたデータからその特徴を抜き出す手法)・「推測統計」(部分から全体を推測する手法)の概要を解説する。
☆	西洋書誌学入門	ジョン・カーター	図書出版社	○	洋書の書誌情報を、実際の本から読み取る際の疑問点の解消に役立つ。
☆☆☆	三酔人経綸問答	中江兆民 桑原武夫・島田 虔次 訳・校注	岩波文庫青110-1	○	現代語訳・詳細な注・総ルビ付き原文の読み易い構成です。民権運動の現実を踏まえた思想を基に、日本における民主主義の可能性を追求した兆民第一の傑作です。(法学部・近代史の難関入試対策)
☆☆	データサイエンティストが創る未来 これからの医療・農業・経営・ マーケティング	スティーヴ・ロー 久保尚子 訳	講談社	○	ビッグデータから多様な分野の知をいかに抽出し、それらが今後どのように活用されていくのか。科学技術、農業、工業、商業、サービス業、医療等での活用の他、プライバシーの問題とデータ資本主義について述べている。
☆	AIは「心」を持てるのか 脳に近いアーキテクチャ	ザルカダキス 長尾高弘 訳	日経BP社	○	AI(人工知能やロボット)が人類にとって真に役立つものとなるために必要なことは何か。AIの歴史・現状・人間との関係性を踏まえて解説する。
☆☆	人工知能 チューリング/ブルックス/ヒントン (名著精選)心の謎から心の科学へ	チューリング/ブルックス/ヒントン /ラングトン 他	岩波書店	○	「計算機械と知能」(1950年)チューリング著/「ゾウはチェスをしない」(1990年)ブルックス著/「人工生命」(1989年)ラングトン著/「特徴量はどこから来るのか?」(2014年)ヒントン著/座談会「人工知能研究者は何をめざすか」(2017年)池上高志ほか
☆	人工知能 人類最悪にして最後の発明	ジェームズ・バラット 著・水谷淳 訳	ダイヤモンド社	○	人工知能の多様な側面における問題点と課題を指摘している。
☆	デジタル社会はなぜ生きにくい か	徳田雄洋	岩波新書1185	○	高性能・多機能なデジタル機器やシステムによる便利さに潜む不都合に対処する心構えを、身近な事例から説き、「避けるべき未来」を示す。
☆	不利益のススメ 新しいデザインを求めて	川上浩司	岩波ジュニア新書 891	○	定量化できない、数式化できないものの「益」を捉え、実際に活かしていくことについて、様々な具体例を挙げつつ解り易く解説する。
☆	あなたはネットワークを理解して いますか?	梅津信幸	サイエンス・アイ新書 SBクリエイティブ	○	そもそも「ネットワーク」とは何なのか、その本質を根源から解説する。情報学習に必要な視座を持つことができるようになる入門書。
☆	最新 事例でわかる情報モラル	実教出版編集部	実教出版	○	社会・科学・技術等幅広い視点で解り易く解説します。
☆	スノーデンが語る「共謀罪」後の 大量監視社会に抗するために	スノーデン/談・軍 司泰史/インテビュー・著	岩波ブックレット976	○	政府による情報の大量監視によって、一般市民はどのような危険に曝されるのか。大量監視の内実と、プライバシーを守るための方策について述べる。

人文科学系:文・人文・歴史・哲学・外国語・国際文化・教育・認知・発達・人間科学・生活科学・社会学系

レベル	本の題名	著者・編者・訳者	出版社等	図書館	紹介コメント
☆☆	言葉とは何か	丸山圭三郎	筑摩学芸文庫	○	ソシュールや言語哲学に関する最適の入門書。参考図書案内・人物案内・索引付き。
☆☆	言語学の誕生—比較言語学小史	風間喜代三	岩波新書黄69	○	印欧語比較文法という学問が誕生し言語学が科学として確立した過程を明らかにする。
☆☆	マルチ言語宣言 なぜ英語以外の外国語を学ぶのか	大木満/西山 教行 編	京都大学学術 出版会	○	異言語・異文化理解を試みることの意義は何かということから、英語教育・外国語教育の在り方を多角的に論じる。諸言語・諸文化・国際関係・国際政策等の志望者は必読。
☆☆	バイリンガルの世界へようこそ 複数の言語を話すということ	フランソワ・グロ ジャン	勁草書房	○	バイリンガリズムの定義・特徴・なり方・さまざまな側面について述べる。
☆☆	多言語主義社会に向けて	平高史也 木村護郎クリストフ	くろしお出版	○	国内外の様々な社会の場面での多言語の事情を報告し、その背景や課題を解説する。多言語使用や多言語主義の持つ意味を探る手掛かりとなる本。
☆☆	対人援助における通訳者の倫理——公正なコミュニケーションに向けて——	飯田奈美子	晃洋書房	○	コミュニティ通訳(司法や医療、教育、福祉、入国管理等幅広い場での通訳)における対人援助場面での公正介入基準について、懇切丁寧に解説する。
☆	美しい日本の私	川端康成	講談社現代新書0180	○	ノーベル文学賞受賞時の講演。日本文学を総覧し日本の美を語る。英訳付き
☆	アメリカ講義 新たな千年紀のための六つのメモ	カルヴィーノ	岩波文庫赤709-5	○	これからの文学において重要な文学の価値、もしくは長所、あるいは特質としてイタリア文学者カルヴィーノが考えた5つのテーマについての論考と補遺。
☆	知っておきたいイギリス文学/アメリカ文学/ドイツ文学/フランス文学/ロシア文学	青木和夫 他/丹治めぐみ 他/前野光弘 他/小野潮 他	明治書院	○	文学小史付き。各作品の梗概(こうがい=あらすじ)と共に、作品の細部と全体の意味合いについて、文学的背景を踏まえた簡にして要を得た解説が付されている。
☆	フランス文学講義 言葉とイメージをめぐる12章	塚本 昌則	中公新書2148	○	文学とイメージのかかわりを意識的に追求してきたフランス近代文学を素材に、私たちが物語を通して「見ている」ものは何か、そして書かれているものは何かを考える。
☆☆	近代文化史入門 超英文学講義	高山宏	講談社学術文庫	○	シェイクスピア以降の英文学を、文化的背景からの影響を明らかにしつつ時代を追って解説する。図が豊富にあって面白く読める。
☆☆	歴史とは何か	E.H.カー著・ 清水幾太郎訳	岩波新書447 岩波文庫	○	歴史的事実をどう見るかということから、「社会と個人」「歴史と科学と道徳」「歴史における因果関係」「進歩としての歴史」「現代の新しい歴史」まで、歴史家の基本的姿勢を述べる。歴史学を志す人に読み継がれてきた本。
☆☆	日本古代史をいかに学ぶか	上田正昭	新潮選書	○	日本古代史の碩学が総合的な古代史研究である「古代学」全般について述べる。
☆	近現代日本史と歴史学 書き替えられてきた過去	成田 龍一	中公新書2150	○	マルクス主義の影響下にあった社会経済史をはじめ、民衆史、社会史という三つの流れから、近現代の歴史がどのように描かれ、修正されてきたかを辿る。
☆	日本人として知っておきたい近代史 明治篇	中西輝政	PHP新書663	○	日本の近代史を学び直し、新しい「近代史の常識」と「この国の自画像」を提示する試みである。「人間が歴史を動かす主人公である」という視点から、吉田松陰と、岩倉具視から乃木希典まで、明治を築き上げた7人の人物を中心に取り上げる。
☆	人文学への接近法 ——西洋史を学ぶ	服部良久/南川高志/ 小山哲/金澤周作	京都大学学術 出版会	○	西洋史を大学で学ぶとは？西洋史研究の諸分野、大学での様々な学究の在り方、講義や演習、論文、留学等、幅広い疑問に対して具体的に解説する。
☆	新版 荒れ野の40年 ヴァイツゼッカー大統領ドイツ終戦 40周年記念演説	リヒャルト・フォン・ ヴァイツゼッカー 著 永井清彦訳	岩波ブックレット767	○	歴史の真実を直視する——冷静かつ公平に見つめることによって、偏見と敵意と憎悪を排除し、自由を尊重し、平和のために尽力し、公正を振り所とし、正義については内面の規範に従うことを、当時の西ドイツ国民に呼び掛けた演説。
☆	ユダヤ人の歴史 古代・中世篇/近世篇/現代篇	ポール・ジョンソン著 石田友雄監修 阿川尚之、池田潤、山田恵子 訳	徳間文庫	○	興味深い民族史が読みやすい文章で楽しめる。内容：古代・中世篇：選民の誕生と苦難の始まり/近世篇：離散した諸国で受けた栄光と迫害/現代篇：ホロコーストとイスラエルの再興 交錯する恐怖と希望
☆☆	新・ローマ帝国衰亡史	南川高志	岩波新書1426	○	歴史学の最新の知見から、辺境属州の実態や動向を踏まえ、ローマ帝国という政治的な枠組みとその世界の衰退と崩壊をたどり、歴史と未来を考える素材を提供する。
☆	ヨーロッパ思想入門	岩田靖夫	岩波ジュニア新書441	○	ギリシアの思想とヘブライの信仰の二つの礎石からヨーロッパ思想をたどる。
☆	知の歴史 ——ビジュアル版 哲学入門——	ブライマン・マギー 中川純男日本語版監修	BL出版	○	思想の歴史が初心者にも理解出来るよう、哲学史上の主要なテーマを取り上げ、根本的な問題に焦点を当てて平易な文章で解説する。図版が美しい。
☆☆☆	現代思想入門 グローバル時代の「思想地図」はこうなっている！	仲正昌樹 編	PHP研究所	○	第二次大戦後に影響を持った思想を「(正統)マルクス主義との距離の取り方」と「地域性」を考慮に入れ、4つの大きな流れを取り上げてまとめた。19人の思想家と現代思想の新しい「見取り図」がわかる最新入門書。
☆☆	方法序説	ルネ・デカルト著 谷川多佳子訳	岩波文庫青613-	○	最初の近代合理主義者であるデカルトの簡潔な著作。デカルト的懐疑から出発し「我思う故に我あり」「心身二元論」「神の存在の証明」「世界論」、学問の展望までを丁寧に述べる。
☆~ ☆☆	哲学の使い方	鷲田清一	岩波新書1500	○	哲学の思考のプロセスの諸相を洗い出し、哲学の実践や臨床までを解説する。原題の哲学の実際を知ることができる。
☆~ ☆☆	権威と権力 ——いことをきかせる原理・きく原理	なだいなだ	岩波新書c36	○	権威と権力との諸相を様々な角度から考察し解説する。身近な具体例から対話形式で追究してゆく大変読み易い本。
☆	記号論への招待	池上嘉彦	岩波新書258	○	記号論の各概念を丁寧に解説した入門書。文化記号論への繋がりや展望も述べる。
☆	文化記号論への招待	池上嘉彦・山中桂一・ 唐須教光	有斐閣選書877	○	文化記号論の基礎と様々なテーマについて解説する。
☆	異文化理解	青木 保	岩波新書740	○	人間と異文化の関わりや諸相と、異文化へのアプローチの経験から得た知見を示す。
☆	多文化世界	青木 保	岩波新書840	○	宗教・民族間の真の相互理解と協調に向けた理念・現状・課題を述べる。
☆☆	「日本文化論」の変容 戦後日本の文化とアイデンティティ	青木 保	中央公論社	○	戦後の日本文化論の変化を概観し、問題点を整理する。
☆☆	「日本人論」再考	船曳建夫	講談社学術文庫1990	○	内容：日本人論が「国家論」であること、戦後の日本人論の検証、今後の日本人について。
☆☆	日本文化における時間と空間	加藤周一	岩波書店	○	日本文化の特質を時間と空間を軸としてその表現・行動様式から考察する。
☆	中空構造日本の深層	河合隼雄	中公文庫か54-1	○	日本人としての自己実現の道という視点から日本人の存在の特性を探る。
☆	日本人とアイデンティティ	河合隼雄	創元社	○	臨床心理学の知見と日本・世界の社会や自我の在り方から、日本人の自我、アイデンティティの持ち方の特性を探る。自我、無意識、アイデンティティの特性と働きについても、自分のこととして理解が進む本。
☆☆	現代日本人の意識構造[第九版]	NHK放送文化研究所	NHKブックス	○	家族や仕事のあり方、生活目標や人間関係、政治や国際化に関する意識などの蓄積されたデータを分析、展望する。

☆☆	教育政策・行政の考え方	村上祐介・橋野晶寛	有斐閣	○	教育に関する法制度・政策の解説・政策選択の結果に対する実証研究の紹介など。
☆☆	教えることの復権	大村はま/荻谷剛彦・夏子	ちくま新書399	○	教えるということの真髓と、教えることの現状とを踏まえ、その復権を考察する。
☆	子どもと教育 臨床教育学入門	河合隼雄	岩波書店	○	臨床心理学の基礎理念から教育現場の事例と考察、今後の課題までを述べる。
☆	コンプレックス	河合隼雄	岩波新書 c73	○	ユング心理学を基にした、コンプレックスについての解り易い解説書。
☆	心理学 心の働きを知る	梅本堯大 ほか	サイエンス社	○	心理学全般についてのコンパクトな入門書。図表が多く読み易い。
☆☆	自己の心理学を学ぶ人のために	梶田 叡一 / 溝上 慎一 編	世界思想社	○	社会心理学、人格心理学、認知心理学、発達心理学、青年心理学、心理臨床・精神分析の各分野における自己論について、理論的な流れを古典からレビューし、最先端の理論を解説する。
☆	「しがらみ」を科学する 高校生からの社会心理学入門	山岸 俊男	ちくまプリマー新書169	○	社会とは、私たちの「こころ」が作り出す「しがらみ」だ。いじめを止めたいのに傍観する等の、望んでもいない行動をとるよう、私たちに仕向ける。そのような社会の構造を解き明かし、自由に生きる道を考える。
☆☆	言葉と心と脳 失語症とは何か	山鳥茂	講談社現代新書2085	○	失語症を通して言葉を考え、さらに言葉と心と脳との関係を考察する。
☆☆	安全。でも、安心できない… 信頼をめぐる心理学	中谷内 一也	ちくま新書746	○	事実とデータによっても安全を確認しても安心できない気持ちを分析し、社会心理学の観点から解説する。理性と感情のメカニズムを踏まえた信頼のマネジメントを実践的具體例を用いて示す。
☆☆	社会心理学キーワード	山岸俊男 編	有斐閣双書	○	社会心理学の理論や概念・代表的研究を正確に理解するための使い易い事典。

社会科学系:法・政治・総合政策・国際政治・経済・経営・商・環境・社会・福祉

レベル	本の題名	著者・編者・訳者	出版社等	図書館	紹介コメント
☆	いちばんやさしい憲法入門 第6版	初宿正典	有斐閣	○	憲法の重要な問題を選び、身近な事柄から考えさせながら懇切丁寧に解説する。
☆☆ 【新】	人権宣言集	高木ハ尺:末延三次・宮澤俊義	岩波文庫	○	世界各国の人権宣言・権利宣言の正文を集めて解説し、更に全体の概説的解説を付す。
☆☆	世界憲法集 新版	高橋 和之	岩波文庫	○	各国の現行憲法から歴史と性格を異にする代表的な九カ国を選び、原文と解説を収録。
☆	憲法第九条はなぜ制定されたか	古関影一	岩波ブックレット674	○	昭和天皇の戦争責任免責、沖縄基地化と9条制定が密接な関わりを持つ意味を述べる。
☆☆	民主主義という錯覚	薬師院仁志	PHP研究所	○	「民主主義」の思想の真実と歴史から日本の民主主義の課題と展望を社会学の視点から検討する。
☆☆	自由の限界 世界の知性21人が問う国家と民主主義	エマニュエル・トッド / ジャック・アタリ 他	中公新書ラクレ715	○	世界各市域の情勢と民主主義の在り方、コロナ禍で露呈した課題と社会への提言を、研究者など21人が語る。
☆	人権の世界地図	アンドリュー・フェイガン	丸善出版	○	基本的人権をはじめ様々な人権と、それらに関連する諸事象の状況を地図上に示し、各々の事項に考察を加えている。
☆☆	人間の安全保障	アマルティア・セン	集英社新書0328A	○	人間の安全保障について、人間的発展、人権と対比しつつその本質を語る。
☆☆	国際連合の基礎知識	国際連合広報局	関西学院大学出版会	○	国連についての最新の基礎資料です。総合政策学部を志望する人には必見の書です。
☆	危機の現場に立つ	中満泉	講談社	○	現在国連軍縮担当事務次長・上級代表である筆者が、国連に就職した経緯と仕事、国連外での仕事と家族、国連開発計画(UNDP)の危機対応局長としての仕事、国際協力の仕事について解り易く記述する。
☆☆	日本の国際教育協力:歴史と展望	萱島信子・黒田一雄	東京大学出版会	○	国際教育協力の理念を示し、各協力内容の展開の経緯と展望を述べる。国際教育協力プロジェクトリストを付す。
☆☆	非営利組織の経営 原理と実践	P.F.ドラッカー	ダイヤモンド社	○	ボランティア等の組織の経営のみならず、アメリカ社会とその力学についても理解できる。
☆☆	現代政治学入門	バーナード・クリック	講談社文庫	○	現代人の基本教養・政治学の最良の入門書として英国で定評を得る一冊。
☆	現代アラブを知るための56章	松本弘 編著	明石書店	○	アラブ諸国の文化と生活・政治状況・経済・安全保障・思想・イデオロギー等の入門書。
☆☆	【中東大混迷を解く】サイクス=ピコ協定 百年の呪縛	池内恵	新潮選書	○	近現代史と中東の複雑な国家間の関係を踏まえ、緊張状態の本質を読み解く。
☆☆	イスラームからヨーロッパをみる —社会の深層で何が起きているのか	内藤正典	岩波新書1839	○	ここ20年間の、イスラーム世界で起きたことがヨーロッパに惹き起した反応に焦点を当て、両者の関係性の変化を解説する。
☆	いちばんよくわかる集団的自衛権	佐瀬昌盛	海竜社	○	集団的自衛権の定義、安保体制における位置付け、経緯や根拠などを解説する。
☆	高校生にも読んでほしい 安全保障の授業	佐藤正久	ワニブックス	○	集団的自衛権、日本の国際的地位、戦わずに国を守る方法、自衛隊員のリスクをいかに下げるか、について理解し易く解説する。安全保障のQ&Aもある。
☆☆	「尖閣問題」とは何か	豊下楯彦	岩波現代文庫/学術/273	○	尖閣の諸問題、アメリカの戦略、全領土問題の解決策も踏まえた外交の転換を提言。
☆	13歳からの拉致問題 弟と家族の物語	蓮池透	かがわ出版	○	蓮池さんの拉致事件を軸に、拉致問題や朝鮮半島と日本との関係の基礎知識を解説。
☆☆	世界経済図説 第四版	宮崎勇・田谷禎三	岩波新書1354	○	現在の世界経済の喫緊の課題をデータで詳細に解説する。
☆☆ 【新】	日本経済図説 第五版	宮崎勇・本庄真・田谷禎三	岩波新書1878	新着	日本経済の全体像を豊富なデータでわかりやすく解説する必携の入門書。
☆☆	世界は感情で動く 行動経済学からみる脳のトラップ	M. モッテルリーニ 泉典子 訳	紀伊国屋書店	○	豊富な事例で脳のしかけるトラップ(罠)を分析・解説し、さらにトラップに引っかからずに適切な選択をするための方法を伝授する。面白く読み易い一冊。
☆	移住・移民の世界地図	Russell King 他	丸善出版	○	解り易い図と解説で、世界各地の移住と移民の多様な諸事情を解説する。
☆☆	移民の経済学	ベンジャミン・パウエル 著・数下史郎監訳	東洋経済新報社	○	移民が来ると、どうなるのか?という疑問を、感情論を排して、各種統計から実態を分析・考察し、政策について論じている。
☆	移民の世界史	ロビン・コーエン	東京書籍	○	初期人類から現代の人の移動の通史と、移動・移住に関係する事物の諸相について。
☆☆	難民を知るための基礎知識	滝澤三郎/山田満 編著	明石書店	○	国際政治・強制移動・国際機関と難民、難民の社会統合、各地の難民、難民と人間の安全保障について解説する。
☆	世襲格差社会 - 機会是不平等なのか	橋本俊詔/ 参鍋 篤司	中公新書2377	○	統計データを基に世襲と格差の関係を詳細に検証し、職業を継ぐことの意味や機会の平等の本質を考察する。
☆☆	はじめての社会保障 福祉を学ぶ人へ 第17版	椋野美智子/田中耕太郎	有斐閣	○	社会保障制度の基本的な考え方を、医療保険など各種保険・生活保護と社会福祉制度・年金・社会保障の歴史と構造の各項目ごとに解説する。
☆☆	知のスイッチ 「障害」からはじまるリベラルアーツ	嶺重慎/広瀬浩二郎/村田淳 編 京都大学学生総合支援センター《協力》	岩波書店	○	「障害」とは何かについて多様な事例を対照的に捉え、新しい切り口を創出する試み。宇宙物理学、公共政策学、哲学、建築学、医学、日本語学、システム工学、健康運動学、デザイン、文化人類学、経済学、倫理学の研究者達が、それぞれの専門分野と「障害」とのつながりから紡ぎ出される研究、知見を提示します。
☆	子どもに「ホームレス」をどう伝えるか いじめ・襲撃をなくすために	生田 武志 / 北村 年子著、ホームレス問題の授業づくり全国ネット	ホームレス問題の授業づくり全国ネット	○	経済、政治、人権等様々な分野にまたがる社会問題である「ホームレス」について、実践に裏打ちされた幅広い視点から解り易く解説する。
☆	生活保護から考える	稲葉剛	岩波新書1459	○	生活保護の当事者の声や現場の実態から問題の根源を指摘する。

☆	ブラック企業 日本を食いつぶす妖怪	今野晴貴	文春新書887	○	ブラック企業の実態と社会に及ぼす弊害を多角的な視点から分析し、対策を提言する。
☆	ブラック企業2「虐待型管理」の真相	今野晴貴	文春新書1003	○	ブラック企業の雇用実態と国家の雇用政策との関係、親・教師・支援者の方策を示す。
☆	女性学・男性学 ジェンダー論入門	伊藤公雄	有斐閣	○	ジェンダー(社会的・文化的に構成された性)論の意味と日本の現状について解説する。
☆	家事労働ハラスメント	竹信三恵子	岩波新書1449	○	「見えない労働」を担う人々の実態を解明し、困難から抜け出す道を内外にさぐる。
☆☆	LGBTsの法律問題Q&A 著者:大阪弁護士会 人権擁護委員会 性的指向と性自認に関するプロジェクトチーム		LABO	○	LGBTsの人々が直面する社会的問題について、法律の面からどのような手立てがあるかを知ることが出来ます。
☆☆	子どもの貧困調査 子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの	山野則子	明石書店	○	子どもの貧困への対策のため、調査の設計から研究者と自治体の協働、施策の策定・実施・改善まで、データに基づく議論の展開を提示する。
☆	保育臨床相談 保育の内容・方法を知る	小田豊・ 菅野信夫 他	北大路書房	○	保育の仕事の基礎基本を、理論編・実践編に分けて解り易く解説する。保育の勉強と仕事の実際についてイメージを掴むことが出来る。
☆	社会的養護の未来をめざして	児童養護施設 等退所者実態 調査に関する研	筒井書房	○	「東京都の児童養護施設等退所者の実態調査からの検討と提言」:児童養護施設で働くことの実際と必要な能力、養護の課題について知ることが出来る。
☆	田園回帰1%戦略 地元にと仕事を取り戻す	藤山浩	農山漁村文化協会	○	人口維持を目指す「人口ビジョン」と人口減少を克服するための「総合戦略」をの具体案を、実例の報告と種々のデータから示し、そのための条件整備を提言する。
☆	ベネディクト・アンダーソン グローバリゼーションを語る	梅森直之	光文社新書301	○	ナショナリズム理論の入門書として読める。アンダーソンのナショナリズムについての考えを述べた部分と、アンダーソンについての解説の部分から成る。
☆☆	グローバリゼーションとは何か 液状化する世界を読み解く	伊豫谷登士翁	平凡社新書150	○	グローバリゼーションの入門書。グローバリゼーションの課題、空間と時間、場、グローバル資本、グローバル化の脱統合と再統合について解説する。
☆☆	社会的共通資本	宇沢弘文	岩波新書696	○	社会的共通資本の総合的入門・解説書。

自然科学系:理・工・農・医療系

レベル	本の題名	著者・編者・訳者	出版社等	図書館	紹介コメント
☆	科学者をめざす君たちへ 第3版 科学者の責任ある行動とは	米国化学アカデミー	化学同人	○	科学の専門家としての規範の概観を提示し、この規範を守ることが今後の科学の発展にとって本質的に重要である理由を説明する本。
☆	誰も教えてくれなかった実験ノートの書き方(研究を成功させるための秘訣)	野島高彦	化学同人	○	実験ノートの在り方、目的、記入用具、記入方法、実験を始める前・進めながら・実験後に書く事、改ざんや剽窃を具体的に解説する。研究成果を得るためのノート作りが基礎から解る。他分野の調査の記録作りにも参考になる。
☆	これだけは読んでおきたい科学の10冊	池内了編	岩波ジュニア新書456	○	宇宙・数学・生物学・物理学から、自由な発想で科学の世界へ導く本まで。
☆	宇宙論入門 誕生から未来へ	佐藤勝彦	岩波新書1161	○	宇宙の歴史の研究の理論と観測の最前線を展望し、宇宙と人類の未来を考察する。
☆	宇宙と生命の起源 2 素粒子から細胞へ	嶺重慎 小久保英一郎	岩波ジュニア新書777	○	宇宙の構成要素、恒星、天の川、ブラックホール、太陽、太陽系、系外惑星、地球の特性、物質から生命へ、生命進化、大量絶滅と進化、人類の各項目について解説する。
☆	リンネとその使徒たち	西村 三郎	人文書院	○	神の御手になるこの自然の全てを究めつきたい、啓蒙の時代18世紀を代表する博物学者リンネの強い感化をうけ、未知の生物を求めて遙かな異境へ学術探検を試みた(使徒)たちの残した栄光と苦悩の足跡。豊富な図版と読み易い文体で綴る。
☆☆	生命とは何か 物理的に見た生細胞	E.シュレーディンガー 岡小天・鎮目恭夫 訳	岩波文庫青946-1	○	量子力学を創造し、原子物理学の基礎をつけた著者が追究した生命の本質——分子生物学の生みの親となった20世紀の名著。
☆☆☆	生命とは何かを問い続けて ——分子生物学の先へ——	岩倉洋一郎・米原伸・藤澤順一・浅野雅秀・川出才紀/編	京都大学学術出版会	○	日本における生物学/生命科学の歴史と実態を記載する。英語・日本語対照の論文も複数掲載されている。
☆☆	WHAT IS LIFE? 生命とは何か	ポール・ナース	ダイヤモンド社	○	ノーベル医学生理学賞受賞者が、生物学の5つの考え方「細胞」「遺伝子」「自然淘汰による進化」「化学としての生命」「情報としての生命」について解説し、それらから生命を定義する「統一原理」を導く。
☆☆	ゲノムが語る生命像	本庶佑	講談社BLUE BACKS1800	○	ノーベル医学生理学賞受賞者が、「分子細胞遺伝学」「ゲノム工学の技術」「生命科学の新しい展開」「ゲノムから見た生命像」「生命科学がもたらす社会へのインパクト」について解説し、生命科学者の視点から人間の在り方と教育・社会について提言する。
☆	ゲノム編集を問う ——作物からヒトまで	石井哲也	岩波新書1669	○	ゲノム編集についての基礎事項、農業・病気治療・ヒトの生殖等への応用と、人々の共通理解や法律の整備等の社会的な基盤の構築について解説する。
☆	LIFE SCIENCE (ライフサイエンス) 長生きせざるをえない時代の生命科学講義	吉森保	日経BP	○	生命科学の基本として、科学的思考を身につける・細胞・病気・オートファジー・寿命を延ばすために何をすればいいかについて解り易く解説する。
☆	生物はウイルスが進化させた 巨大ウイルスが語る新たな生命像	武村政春	講談社BLUE BACKS2010	○	光学顕微鏡で見える大きさである巨大ウイルスについての研究でわかってきたことに焦点を当てて提示・解説する。
☆☆	生物の多様性ってなんだろう? 生命のジグソーパズル	京都大学総合博物館・京都大学生態学研究センター 編	京都大学学術出版会	○	生物多様性を「形」(種の多様性)・「関係」(生物間の相互作用)・「分子」(分子解析生態学)・「人間活動」(安定同位体解析応用例)・「生態系」の観点から解説し、それらが相互にどのように影響しあっているのかを形作られているのかを示す。各章に「より深く学ぶために——読書案内」あり。
☆☆	幹細胞 ES細胞・iPS細胞・再生医療	ジョナサン・スラック 八代嘉美 訳	岩波科学ライブラリー-250	○	本書はオックスフォード大学出版会の「Very Short Introductions」という入門書シリーズの一冊です。日本の文系の高校生も解るくらいに、基本的な事項から丁寧に解説されています。
☆☆	iPS細胞の歩みと挑戦	京都大学iPS細胞研究所 国際広報室 編	東京書籍	○	細胞の誕生の経緯、利用(再生医療、病気のしくみの解明と創薬、基礎研究)、知的財産、医療現場での使用、普及、今後の展望などを解り易く示す。
☆	「大発見」の思考法 iPS細胞 vs. 素粒子	山中伸弥・ 益川敏英	文春新書789	○	大発見のいきさつや研究の醍醐味・人生の道程から、研究を通して掴んだ探究と発想の真髄までを二人の科学者が対談する。
☆☆	生命倫理学を学ぶ人のために	加藤尚武・ 加茂直樹/編	世界思想社	○	臓器移植、クローン人間、代理母、精子売買等、先端医療が突きつける問題に人間はどう対処すべきか。哲学、医学、法学など様々な分野の専門家が、生命倫理学の現在を示し、その未来を展望する。
☆	医療の限界	小松秀樹	新潮新書218	○	医師の立場から医療の実態を論じたもの。
☆	ご飯が食べられなくなったら どうしますか? 永源寺の地域まるごとケア	花戸貴司 著・國森康弘 写真	農山漁村文化協会	○	地域で過ごす患者を支え、人間らしい最期を迎えることを可能にする地域包括ケアの取り組みの実際と提言。状況を伝える写真も豊富。

☆	最新も笑顔で在宅看取りの医師が伝える幸せな人生のしまい方	花戸貴司	朝日新聞出版	○	地域包括ケアの実践の紹介と、「地域まるごとケア」の解り易いまとめと解説。様々な立場の人々が連携する地域医療の実際と課題を知ることができる。
☆	遺伝医療と心のケア 臨床心理士として	玉井真理子	NHKブックス1062	○	出生前診断、障がい児の親となること、神経難病や癌などの遺伝性疾患の発症前遺伝子診断等の医療に心理士としてかかわった事例と筆者の考察を述べる。
☆☆ 【新】	メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論	山蔦圭輔 本田周二	南山堂	新着	人間の理解・コミュニケーションの理解、集団・組織をよりよく成長させること等について、臨床現場において知っておきたい知識・理論を紹介する。
☆☆☆	実践チーム医療論 —実際と教育プログラム	水本清久/ 石井邦雄/土本寛二/岡本牧人	医歯薬出版	○	多くの医療関連専門職の能動的「協働」による「チーム医療」について、その基本と実践を解説。チームを醸成するために必要な内容を、具体的な各医療チームの活動、専門職の連携場面を挙げる。
☆☆	医療におけるヒューマンエラー —なぜ間違えるどう防ぐ	河野龍太郎	医学書院	○	「人間」を知らない限り、医療事故は減らない。「医療システム」を変えない限り、医療事故はなくせない。「ヒューマンエラーは原因ではなく誘発された結果である」という考えから、事故の見方・考え方を換えようとする医療安全の方策について解説する。
☆☆	ナースのための医療事故防止のポイント	石井トク, 黒住アキコ	照林社	○	医療事故防止のためにすべきこととは。看護師が通常行っている看護過程の思考過程を分析する方法で、医療事故の24事例をカテゴリー別に分類、分析する。
☆	看護師の倫理調整力 専門看護師の実践に学ぶ	鶴若麻理 編 長瀬雅子 編	日本看護協会 出版会	○	「倫理調整」の実践事例の客観化・考察を通して、患者・家族を支える「倫理調整」の意味と課題を探究する。
☆☆	STOP! メディケーションエラー —チームで防ぐ与薬事故	古川祐之/相馬孝博/新井有美	学習研究社	○	医師・薬剤師・看護師のそれぞれの視点から、事例を分析し、再発防止策に向けてのアドバイスをまとめたもの。
☆【新】	ユマニチュード入門	イヴ・ジネスト 他	医学書院	新着	知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいたケアの技法
☆	がんばろう薬剤師 —医療貢献のための道を探る—	高村徳人	講談社	○	薬剤師の職能、薬術の開発、今後の薬剤師養成、フィジカルアセスメントの技術力が開く薬剤師の可能性について解り易く語る。
☆	素粒子はおもしろい	益川敏英	岩波ジュニア新書697	○	素粒子研究の実際に加え第7章「化学の役割と私たちの学び方」が興味深い。
☆	目に見えないもの	湯川秀樹	講談社学術文庫94	○	現代物理学の高い視点からの諸事の見方と学問へ旅立つ青年に語る言葉。
☆【新】	物理学とは何だろうか 上・下	朝永振一郎	岩波新書 黄版85・86	新着	16世紀から現代までの物理学的思考の在り方をたどる。
☆	『人物で語る物理学入門 上・下	米沢富美子	岩波新書980/981	○	発見の物語を楽しみながら物理の基礎が身につくユニークな入門書。
☆	〈あいまいさ〉を科学する	米沢富美子	岩波書店 双書 時代のカルテ	○	身近な「あいまい」なものから「ビッグバン以前の時間」までわかりやすく解説。物理学の最前線への入門書。
☆	植物が地球をかえた! 植物まるかじり叢書①	葛西奈津子	化学同人	○	地球の始まり以来、地球の今の環境を創り出してきた植物の活動の歴史。日本植物生理学会 監修
☆☆	森林と人間 —ある都市近郊林の物語	石城謙吉	岩波新書1166	○	北海道苫小牧市近郊の、自然の再生力を尊重する森づくりについての貴重な体験記。「都市林」のあり方を示唆する。
☆☆	現代建築に関する16章 空間、時間、そして世界	五十嵐太郎	講談社現代新書 1867	○	建築のかたちと環境、「住むこと」と「日本という空間」について斬新な視点で読み解き、さらに今後の建築の展望を述べる。

食物・栄養系

レベル	本の題名	著者・編者・訳者	出版社等	図書館	紹介コメント
☆☆	栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉 4訂 一人の生活を支える食と社会福祉を学ぶ	石川京子 著 岩松珠美 編纂 三谷嘉明 編纂	みらい	○	社会福祉の入門理論を最新の知識、資料、法律等に基づいた形で、それぞれの専門分野を学んできた編著者らが書き下ろしたものである。また、管理栄養士の国家試験出題基準を視野においたレベルをめざした。
☆	図解入門よくわかる栄養学の基本としくみ (メディカルサイエンスシリーズ)	中屋 豊	秀和システム	○	循環器内科専門医の著者は臨床栄養学の研究も行き、入院患者の栄養管理を行っている。食とからだ楽しくわかる入門書。

スポーツ科学系統

レベル	本の題名	著者・編者・訳者	出版社等	図書館	紹介コメント
☆	スポーツ科学の教科書 —強くなる・うまくなる近道	谷本道哉 編著 石井直方 監修	岩波ジュニア新書702	○	スポーツの現場であがりそうな考えや疑問を一問一答形式でまとめたもの。図や表を多くしうした本格的な解説が読み易く書かれている。
☆☆	教養としてのスポーツ科学 —アクティブ・ライフの創出をめざして	早稲田大学 スポーツ科学部	大修館書店	○	スポーツ科学の基本書。内容:スポーツ医学・健康スポーツ・アスレティックトレーニング・スポーツコーチング・スポーツ教育・スポーツビジネス・スポーツ文化・資料編
☆	スポーツマンシップバイブル	中村聡宏	東洋館出版社	○	全生徒必読。単なる技術の鍛練だけではないスポーツの真の意義を理解することができる。
☆	時速250kmのシャトルが見える トップアスリート16人の身体論	佐々木正人	光文社新書361	○	「スポーツの環境」に焦点を当て、生態心理学で「アフォーダンス」と呼ばれる「環境」の意味に、第一人者である著者が、アスリート16人のインタビューを通じて肉薄する。
☆	スポーツ科学バイブル	高畑好秀 総監修	池田書店	○	心・体・食・医というトータルでコンディショニングを考え、練習に試合に役立つ方法を紹介。
☆	ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」実践のヒント	日本ユニセフ協会 「子どもの権利とスポーツの原則」起草委員会	明石書店	○	副題「その指導、子どものため、おとなのため？」体罰、ハラスメント、特定ポジションの選手の酷使、勝利至上主義を背景とする長時間拘束・オーバーユース等、子どもの犠牲を防止するための日本発の原則。

芸術系統

レベル	本の題名	著者・編者・訳者	出版社等	図書館	紹介コメント
☆~	配色デザイン見本帳 配色の基礎と考え方が学べるガイドブック	伊達千代	エムディエヌ コーポレーション	○	<p>ここから五冊 美術系大学の入試実技課題制作のための技術書籍です。</p> <p>色彩の持つ多様な表現力を実際の図と解り易い解説で確認・理解できます。自分の表現したい内容に応じた色彩の使い分けの可能性が広がります。</p> <p>→デッサンの技術的な側面のみならず、観察すること、描くまでに思考することをも含めて学び、モチーフの観察の勘所を掴む力を養い、それに加えて自分のデッサンの特徴を長所につなげることを目指す。</p> <p>デッサンの各プロセスの進め方、表現技法の必須事項・コツが、実際のデッサンの進行中の写真と併せて、一つ一つ丁寧に解説されています。</p>
☆~	すべての人に知っておいてほしい 配色の基本原則	大里浩二 監修	エムディエヌ コーポレーション	○	
☆~	どうすれば上達するかがよくわかる! 静物デッサン	国政一真	誠文堂新光社	○	
☆~	デッサンの基本 初めてでも楽しくできる 鉛筆デッサンのやりかたをわかりやすく紹介	アトリエ・ハイデ編	ナツメ社	○	
☆~	基礎から身につく はじめての デッサン (形のとり方から質感まで 鉛筆デッサンの基本がわかる)	梁取文吾 監修	西東社	○	

☆~ ☆☆☆	書の古典と理論	全国大学 書道学会編	光村図書出版	○	中国・日本の書の古典の図版(手本)と「学習のポイント」、書の理論(文字・書の意義と特質、表現と鑑賞、書の変遷、書論・論説、書道教育の理論と実践)、各種資料を載せる。書道の学習にも受験対策にも大いに役立つ本です。
☆~	大人が学ぶ小学校の漢字	宮澤正明	二玄社	○	基本的な漢字の筆順・楷書・行書・草書が練習できるシンプルな作りです。筆順や字形の盲点を自分で理解・解消できる。書道専攻志望者のみならず、教育の分野を目指す人は教科を問わずチェックすべき本。
☆~ ☆☆☆	中国書道史の旅 ——書の故里を訪ねて 別冊	芸術新聞社出版部 墨 第2号 完全復刻版	芸術新聞社	○	中国各地の碑、その他の書にまつわる場所を訪ね、併せて書道史や各書の解説を載せる。著名な書の歴史的・文化的背景を知ることが出来る。
☆☆ ☆☆	楽典・理論と実習	石桁真礼生	音楽之友社	○	楽典を解り易く、余すところなく解説しています。
☆~ ☆☆☆	キーワード150 音楽通論	久保田慶一	アルテスパブリッシング	○	音楽の歴史、理論、形式、楽器、編成などに加えて、民族音楽、日本音楽、音楽学の諸分野、音楽と社会のかかわり、ポピュラー音楽等について幅広く解説する。
☆~ ☆☆☆	音大受験生のための パーフェクト楽典 問題集	音大進学 ゼミナール編著	ドレミ楽譜出版社	○	解答編には重要な箇所にも勉強方法・内容解説付き、また過去20年間に出题された音楽用語の出題頻度順の表が付いています。
☆~ ☆☆☆	音大受験生のための パーフェクトソルフェージュ	音大進学 ゼミナール編著	ドレミ楽譜出版社	○	旋律聴音編。聴音課題CDが付いている。
☆~ ☆☆☆	音大受験生のための パーフェクト楽典 ハンドブック	音大進学 ゼミナール編著	ドレミ楽譜出版社	○	ドリル・解答付き。楽典が自学自習できる。同じシリーズの「パーフェクト楽典・問題集」を併用できるようになっている。

探究学習・各種プレゼンテーションのために

レベル	本の題名	著者・編者・訳者	出版社等	図書館	紹介コメント
☆	京大式 おもろい勉強法	山極寿一	朝日新書 542	○	学術の新しい分野を開拓してきた著者が、自分のやりたい研究を展開するにはどうしたらよいのかを具体的に指南する。自らの指針の持ち方、人間関係における姿勢、思い通りに行かない周囲の状況をいかに捉え、どう向き合っていけばよいのか。学問の道を行く勇気は行動を通して得られるということが理解できる。
☆☆ 【新】	発想法 改版 創造的開発のために	川喜田二郎	中公新書 136	新着	著者のフィールドワークを基盤とした研究の体験から編み出された創造的考察・発見の方法(KJ法:問題提起→データ採取・記録→分類→新たな概念の創造による問題解決)の実際と効用を述べる。
☆☆	続・発想法 —KJ法の展開と応用	川喜田二郎	中公新書 210	○	KJ法の実技をさらに発展させ、事例・応用例・図解等を豊富にとり入れた本。データ分析・創造的考察のためのみならず自己革新、チームワーク、カウンセリング等にも役立つ。
☆	論文・プレゼンの科学 増補改訂版	河田 聡	アトスリー	○	「(副題)読ませる論文・卒論、聴かせるプレゼン、優れたアイデア、伝わる英語の公式」について、筆者の経験を基にした方法が具体的にまとめられている。
☆	世界のエリートは人前で話す 力をどう身につけるか?	赤坂清隆	河出書房新社	○	スピーチを成功させるためのノウハウを、様々な視点から世界のトップレベルの人々の事例を挙げて解説する。加えて、「会議をリードし望ましい結論に導く」具体的な方法、「エピソード」として『動じることなく話せる』自分になるために』において、日々取り組むべきことや心得を伝授する。
☆	TEDに学ぶ最強のプレゼン術	アカッシュ・カリア	ソフトバンク文庫	○	TEDトークのプレゼンテーションの内、優れたものから200以上を詳細に分析した結果抽出された、スピーチやプレゼンテーションで成功するための効果的な方法を、具体例を挙げつつ明快に解説する。
☆	伝わるデザインの基本 増補改訂版 よい資料を作るためのレイアウトのルール	高橋佑磨・片山なつ	技術評論社	○	文字の種類・大きさ、見やすく美しい図解、図に説明を入れる場合、グラフの作り方、表の作り方、画像の扱い方、写真・図表・配色・強弱の付け方等の効果的なレイアウトのコツなど、豊富な事例を挙げて、すっきり、はっきり、解り易く見せる方法を解説しています。
☆	プレゼン資料が劇的改善 見やすい資料の 一生使えるデザイン入門	森重湧太	インプレス	○	スライド作成を中心に、「伝わる資料」になるための「見やすくなるデザインの基本」「見栄えが良くなるテクニック」について、文の作り方、字体や意図に応じた目立たせ方など、様々な点を教示する。
☆	説得力が劇的アップ プレゼン上手の 一生使える資料作成入門	岸啓介	インプレス	○	一定の量のあるプレゼン資料を作成する場合に役立つ事柄を、構成の作り方から、各部分の表現法、レイアウトまで総合的に解説する。
☆	実践で役立つ!! 英語プレゼンテクニック	Adrian Wallwork 上出 洋介 訳	丸善出版	○	「自分の考えを人にいかに伝えるか」をテーマに、スライドや英文スピーチの作成、話し方、気持ちのコントロール、発表途中の事態への対処、プレゼンテーションの各段階についての考え方や方法等、懇切丁寧に解説する。
☆	研究者の劇的プレゼン術 発表が楽しくなる!	堀口安彦	羊土社	○	「見てくれスライド論&よってらっしゃいポスター論と聴衆の心をつかむ講演技術」ポスターセッションの準備に。事例を挙げながら解り易く指南します。